

# 伯和西爾時報

## ソ聯が原子弹無効を研究

——— 巴里ラウローレ紙報道 ———

【パリ急電】佛新聞「ラヨーレ」紙はロンドン特派員の所報として、英軍部では確實な情報を綜合し、既に原子弹を所有している事を認めている。

旨掲載した、右佛紙は専門紙であると十日過日「ファンタジエ」紙がソ聯に於ける原子弹試験を報じた時は英官界は右報道を餘る真有り。

（ブエノス・アイレス電）傳えられる處に於ると十日エクアドルに軍部の主謀に依る政府打倒陰謀が發見された。

（ブエノス・アイレス電）未遂の中に發覺したエクアドルの革命陰謀は先般キト市に於いて同じく革命を企てたマンチャエニ大佐の一味と見られて、其規模は案外小さかったものと信じられる。

（キト電）十五日午後五十分の政府公表に依れば全國は至つて平穡で何等の異狀もない主謀者のマントエニ大佐は拘束された。

（ロンドン急電）米國系通外相會議は失敗せば西部獨逸を獨立させる計畫は嚴重に附されてゐるものであつた。西獨乙（米英占領地）は米國側よりその秘密が漏れた事に對し英國外務省も全く氣の毒い経済状態を表示した。

（ロンドン急電）確聞する處に依れば米英兩國は四ヶ國外相會議失敗の曉即座に西獨乙兩國占領地を併合し、西獨乙兩國を建設すべく交渉を開始している。

（ロンドン急電）確聞する處に依れば米英兩國は四ヶ國外相會議失敗の曉即座に西獨乙兩國占領地を併合し、西獨乙兩國を建設すべく交渉を開始したが右兩國協議に第一第二兩大戰勝死者の慰靈祭も盛大に舉行された。

（ロンドン急電）半ケ年百二十カ月ロードス模様である。

## 革命陰謀 エクアドル 他國の援助處か 南米自身が經濟難

マーシャル長官





